

未来を生き抜く力と健やかな「からだ」の育成

# チーム武庫

1 学期末号

三田市立武庫小学校長 松田文貴

## 《 1 学期が終わりました 》

本日、終業式を実施し、1学期が終了しました。今年度はコロナウイルス感染症の5類移行に伴い、4月の参観日や教育課程説明会、5月の運動会、6月のオープンスクールにおいて、人数制限を撤廃するなど、各種制限を緩和しながら学校に来ていただける行事を実施することができました。運動会の入れ替え制など、実施にあたって、ご協力をお願いすることもありましたが、ご理解くださったおかげで無事に実施できました。給食については1学期中、前向きで食べることを継続してきました。喫食の仕方については、今後、状況を見ながら判断したいと思います。

武庫っ子たちは、どの学年も4月の初々しい雰囲気から、少しお兄さん、お姉さんになったようで、日々の生活において少し落ち着きを見せてきました。終業式では、始業式や入学式での「自分に優しく、人に優しく、周りのものに優しく」という話について、振り返りの時間を設けました。また、あゆみの所見について粘り強く取り組んだ事例を紹介するなど、自分たちの成長が感じられる場にしました。

6年生は平和学習に取り組んでいます。12日(水)には全校生に千羽鶴作成のお願いをし、各学級に折り方の指導に行きました。なぜ、千羽鶴を作るのか、広島に何を学びに行くのか、学年に応じて自分たちの言葉で説明していました。6年生の優しさや粘り強さが感じられた一コマでした。戦争は遠い話ではなく、身近な世の中で起こっていることとつながっています。昨年の人権に関する住民学習会でも歌手の「ちめいど」さんが、「(仲良く暮らすには)優しさがすべてだと思います。」と話されていました。この時期は平和に関するニュースに触れることが多い時期です。自分だけが正しいと思っていたり、自分の要求を押し通そうとしたりすると、必ず衝突が起こります。ヨーロッパで起きている戦争、日本の近くで起きようとしている軍事行動、それに対する各国の報道の差・・・「みんながもう少し人に、周りに優しくできたら」と思わずにはいられません。



【鶴の折り方はこうだよ・・・】

また、ニュースで扱っていることも基本的には発信者の都合で報道されます。その情報を精査することも大切な力です。誰かが言ったことをうのみにしてそれを事実であるかの如く行動してしまうと、大きな問題になってしまいます。夏休みを利用して、大人も子どもも、「人に優しく」の意味について、情報の受け止め方について、日々の生活や身近な出来事を通して振り返る機会をとっていただきますよう、よろしく願いいたします。

学校は家庭と異なり、共同生活をする場です。毎日生活をしていると、思い通りにいかないことにぶつかったり、他者と意見が食い違ったりすることがあります。時には登校に対して後ろ向きになることもあったかもしれません。その時々において、一緒に考え、背中をそっと押してくださったこと、学校と歩みを合わせようとしてくださったことに感謝申しあげます。

明日からは夏休みで、家庭や地域で過ごすことが多くなります。インフルエンザも流行し、感染症は季節を問わなくなってきました。コロナで学んだ感染症対策を活かしながら、引き続き、健康で安全な夏休みを過ごしていただきますようお願いいたします。また、夏休みは普段と異なる体験ができるチャンスでもあります。ぜひ「優しい心」で多くの体験を重ね、元気で2学期に登校してくれることを願っています。

## 《夏休みのくらしについて》

夏休みの生活について、学校でもプリントを配布し、指導をしておりますが、ご家庭でも配布されたプリントと一緒に読んでいただくなどして、安全な毎日が過ごせますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 【ネットの使い方について】



毎年お知らせしていますが、LINE等、SNSの活用の仕方や、ネット上のニュースや動画、オンラインゲームについてはトラブルに巻き込まれることが多く、安全に活用することは全国的にも課題とされています。実際に身近なところでもトラブルは発生しています。生活リズムの乱れによる生活面や学習面への悪影響は言うに及ばず、ネットゲーム上での人間関係の悪化、不適切なサイトへのアクセス、課金トラブル、見知らぬ人との悪質なつながりなど、保護者が対応に苦慮されているケースも多々あります。また、SNSのメッセージは時間を問いません。「こんな時間に送ってだいじょうぶかな?」「送ったら相手はどう思うかな」といった相手意識をご家庭でしっかり共有してほしいと思います。こういったトラブルは、おうちの方の外出中や就寝中など、大人の目の届かないところで発生することが多く、発覚してはじめて気づくことが大半です。

夏休みは子どもたちだけで過ごす時間も多くなることが予想されます。トラブルに巻き込まれないためにも、スマホやタブレット等の使い方について、今一度ご家庭で話し合いを持ち、共通の約束事を親子で決めるなど、しっかり管理していただきますようお願いいたします。

### 【タブレットの持ち帰りについて】

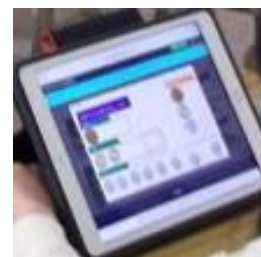
学校の授業活用しているタブレットを夏休みに持ち帰ります。(1年生以外の学年です。)

「学習の時に使う」「(原則)家の中で使う」「パスワードを管理する」「壊さないように使う」など、各学級で指導をしております。使い方について、おうちの方もご理解いただき、管理についてご協力いただきますようお願いいたします。時間がありましたら、使っている様子を一緒に見ていただくと、学校での学習の様子がお分かりいただけるかなと思います。

安全な使い方については各学年のお便りで、参考になるサイトを紹介しています。URLを載せています。QRコードを読み取っていただいてもアクセスできますので、ご活用ください。

また、持ち帰り中の破損報告が三田市内でも何件か発生しているようです。貸与物品なので、特段の事情がない限り、修理費用はそれぞれのご家庭で負担していただくことになっています。(使用に影響がなくても、破損していれば返却時に修理が必要になりますのでご注意ください。)

タブレットを効果的に活用して、学びが深まりますよう、ご協力をお願いいたします。



### 《あゆみについて》

本日、1学期の学校での様子を記した「あゆみ」を持ち帰っております。別紙でもお知らせしておりますように、あゆみはその子その子の学習面や生活面のその時々の状況をお知らせするものです。子どもたち一人ひとり素晴らしい個性を持っています。それを伸ばすことができるよう、また、2学期以降の意欲付けになるように、ご家庭で一緒にお話しいただければ幸いです。

評価項目の数や内容が従来と変わっております。教育課程説明会でお話ししましたように、各教科、総合的に評価する方向性になっていきますので、ある特定の分野ができて、あるいはテストでよい点がとれても、「よくできる」はつきにくくなっています。ご理解いただいたうえで、あゆみをご覧ください。また、道徳や総合的な学習の評価についても、一部変更となっております。詳しくは先日配布しましたお便りをご覧ください。